



# ますのきょうだい

万寿小学校学校便り NO.36

R8年3月9日(月)



3月3日(火)に万寿小学校の応接室にて、第3回学校運営協議会が開かれました。荒木会長を始めとする11名の運営委員の方々の他に岡山県教育庁生涯学習課の安田アドバイザーも参加され、実りある話し合いとなりました。

最初に本校藤澤教頭より、1年間のあゆみについてスライドを使っての振り返りがありました。その後、古市副校長より学校評価についてアンケートの集計結果をもとに説明をしました。アンケート結果では「万寿小の教職員は、保護者や地域に対して、丁寧な対応をしている。」や「万寿小では、保護者や地域と協力連携して教育活動を進めている。」など肯定的意見が高い数値でしたが、「わが子は目標をもって学習している。」や「わが子は家庭学習の目標時間を達成している。」の項目に関しては、保護者・児童とも肯定的意見が低い数値となりました。また、「子どもは学校のきまりや約束をよく守っている。」の項目については、保護者の肯定的な意見は87%ですが、教職員は49%と肯定的な意見が低い数値となりました。この項目についてはきまりやルールの共通理解の必要性や認識の違いの分析が必要であると考えています。

来年度の学校経営計画について、学校長より説明をしました。令和8年度も夢や目標をもつ子どもの育成を大切に、①キャリア教育の視点をもった生活科・総合的な学習の取組と②自己選択・自己決定の力を育む授業の充実を計画の中に新たに付け加えさせていただきました。

協議の中では、学校のタブレット使用の校内での約束や持ち帰りでの使用におけるルールの徹底。また、スマホの校内への持ち込みについて、運動会の在り方、ノーメディアデーの取組など様々なご意見があり、活発な話し合いとなりました。

最後に岡山県教育庁生涯学習課の安田アドバイザーより、講評を頂きました。

「コミュニティ・スクール」とは、学校や地域の課題に対して、学校と地域が知恵を出し合い、力を結集して解決に向け活動し、「自分たちの学校」をよりよいものにしていくための仕組みであり、今回の学校運営協議会の後半の話し合いのように対話を通じて合意形成を図り、納得解を得ることが大切であるというお話を頂きました。また、過去の安田アドバイザーの経験からテーマを持っての熟議に子どもたちも一緒になって参加することの意義や良さについても語って頂きました。多くのヒントや実践例を紹介してくださいましたので、来年度は、万寿小学校の学校や地域にあったより良いコミュニティ・スクールにしていきたいと思っています。